

---

## 「当センターにおけるドライラング症候群の臨床的特徴の検討」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2014年1月1日から2021年12月31日の期間に在胎30週未満で出生し、埼玉医科大学総合医療センター新生児集中治療室に入院した方の中でドライラング症候群と診断された方を対象としております。

#### 2. 研究の目的

長期羊水過少を背景に出生した新生児は出生後急性期に重篤な呼吸障害をきたすことがあり、ドライラング症候群と呼ばれます。しかし、ドライラング症候群の診断基準があいまいであることもあり、世界的には疾患概念として十分に認識されておりません。また、日本では、高頻度振幅換気の有用性が広く知られておりますが、日本以外では高頻度振幅換気の使用頻度が少ないこともあり、有用性の認識が十分でないと考えられる。今回の研究では、ドライラング症候群の新しい診断基準を提案し、当院におけるドライラング症候群の症例の臨床的特徴、呼吸管理法を検討し、長期神経学的予後を含めた臨床経過を明らかにすることを目的としております。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2027年12月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2026年4月3日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる情報について

#### 1. 情報の内容

対象となった患者さんのカルテ番号を用いて、出生前因子として母の人口統計学的特性、産科的合併症、産科的介入内容、羊水過少の期間と原因、出生後因子として、在胎週数、出生体重、Apgarスコア、出生後の呼吸管理の内容、血液ガス所見、胸部X線写真の所見、新生児合併症（呼吸器合併症、心血管系合併症、中枢神経系合併症、消化管合併症、感染症、眼科的合

併症など)を調査します。また3歳までフォローアップしている方に関しては、3歳時点の神経学的所見についても調査いたします。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である芳賀 光洋が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 情報の取得方法

対象の患者さんの入院中および外来での診療記録を用います。

## 3. 情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 芳賀 光洋（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 難波 文彦
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 金井 雅代
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 伊藤 加奈子
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 大島 あゆみ
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 村上 智樹
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 西村 恵理
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 小児科 矢野 孝明

## 4. 情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 小児科 芳賀光洋

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3727（土日祝日を除く 9：00～17：00）

メールアドレス：haga\_m@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：当センターにおけるドライラング症候群の臨床的特徴の検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 小児科 芳賀 光洋